

黒田総裁記者会見要旨(4月 21 日)

——G20終了後の麻生副総理、黒田総裁 共同記者会見における総裁発言要旨

2017年4月24日

日本銀行

—— 於・ワシントン DC

2017年4月21日(金)

午後7時10分から約30分間(現地時間)

【問】

フランス大統領選挙において、二人のEU離脱派の候補者が優勢になった場合は、市場が混乱するという見方もあります。市場への影響という面で懸念される点は何でしょうか。また、昨日のG20前の会見で物価は力強さに欠けるとおっしゃっていました。直近の展望レポートでは、今年度の物価上昇率は1.5%、来年度は1.7%となっておりますけれども、次の金融政策決定会合では、下方修正もやむを得ないとお考えでしょうか。

【答】

フランス大統領選挙の影響云々については、選挙はまだ行われていませんし、私から何か申し上げるのは僭越ですので、コメントは控えさせていただきます。また、展望レポートで示す物価見通しについては、次の金融政策決定会合において色々な議論が行われ、そこで経済や物価の動向についてのその時点での政策委員会の結論が出されてくるわけですので、今、私から特別なことを申し上げることは適当でないと思います。

【問】

先ほどG20の議長国ドイツのショイブレ財務相の会見で、拡張的な金融政策を、正常化に向けて準備をする必要がある、という風に発言をされたのですけれども、そういった議論がG20の中で実際にあったのでしょうか。また、その発言に対してのお考えを伺えますでしょうか。

【答】

ショイブレ大臣の発言が何を指しておられるのか分かりませんが、恐らく欧州の中央銀行の金

融政策についておっしゃったのではないかと思います。もっとも、私は、G20の議論の中で、その点について何か議論があったとは認識しておりません。なお、ご承知のように、米国はすでに金融政策正常化のプロセスを始めているわけで、それはすでにFOMCで決定され、さらに議事要旨等によっても紹介されております。

以 上